

都市デザイン学部(都市・交通デザイン学科, 材料デザイン工学科)の3つのポリシー 【 学士(工学) 】

大学の目的 (学則 第3条)		学部(学科)の教育研究上の目的	
<p>本学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、生命科学、自然科学と人文社会科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、人間尊重の精神を基本に高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的発展に寄与することを目的とする。</p>		<p>都市デザイン学部は、自然科学と科学技術を基盤とし、社会科学の要素を加味した「自然災害の予測やリスク管理、社会基盤材料の開発、都市と交通の創造」に係わる特色ある国際水準の教育・研究を行い、デザイン思考に基づいた創造力を持って問題の発見・解決のできる人材を育成し、都市や地域の創生と持続的発展を通じて、人間社会と自然環境とが共生する理想的な社会の実現に寄与することを目的とする。</p>	
ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー	
<p>【卒業認定・学位授与方針】 都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科では、幅広い知識と深い専門的学識を持ち、学科横断型教育科目等の修得に基づき、デザイン思考を実践する豊かな創造力により、問題発見・解決力、多様な人々とのコミュニケーション能力、及び倫理観・責任感を身に付け、自然と共生した地域社会や国際社会の持続的発展に貢献できる者に学士(工学)の学位を授与する。</p>	<p>【教育課程編成方針】 都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科では、卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した5項目の能力について、体系的な教育課程を編成する。授業は講義・演習・実験・実習の様々な方法・形態により行い、特に、特徴ある学部共通教育科目、学科横断型教育科目、及び地域と連携した教育科目等を編成し、アクティブラーニングにより、学生が主体的・能動的に学ぶことができるものとする。その評価は、各能力における学修成果の到達目標に対する達成度について、客観的な成績評価基準に基づいて行う。</p> <p>【教育課程実施方針】 ・都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科では、4年間の学修を通じて、豊かな人間性を育み、幅広い知識と深い専門的学識を修得し、地域と国際社会で活躍し得る人材となるための教育課程を実施する。</p> <p>・1年次においては、幅広い知識の修得と豊かな人間性を育み、都市デザインの基礎的な考え方を理解するため、教養教育科目と共通基礎科目を学修する。</p> <p>・2年次においては、基礎的な学問を理解し、応用力や創造性を育むため、専門基礎科目を学修する。</p> <p>・3年次においては、専門的学識を深め、論理的思考力、応用力、問題解決力を育むため、学部共通教育科目、学科横断型教育科目、及び地域と連携した科目等を学修する。</p> <p>・4年次においては、地域や国際社会で活躍し得る実践的技術者・研究者となる専門的学識を身に付けるため、卒業研究を実施する。</p>	<p>【入学者受入れ方針】 都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科では、幅広い知識を身に付けるとともに、豊かな人間性を涵養し、地球(環境)、都市・交通、材料に関する深い専門的学識や技術を修得して、地域社会や国際社会の持続的発展に貢献する意欲のある人材を求める。このため、特に以下のような人材を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市や地域の創生に興味のある人 ・美しい都市や地域の実現に興味のある人 ・都市のユニバーサルデザインに興味のある人 ・地域を支える、便利で合理的な交通システムの開発や計画に興味のある人 ・防災の在り方やその具体的な方策から、安全・安心な社会の実現に興味のある人 ・物理学や化学の知識に基づいて、材料の様々な特性・特徴が発現する仕組みの解明に興味のある人 ・社会や自然の環境に強い興味を持ち、新素材や新機能材料の開発に興味のある人 <p>【入学者選抜の基本方針(入試種別とその評価方法)】 一般選抜(前期日程、後期日程) 大学での学修に必要なとされる高等学校卒業レベルの基礎学力を評価するとともに、読解力、論理的思考力、及び表現力を評価する。</p> <p>特別選抜(学校推薦型選抜) 大学での学修に必要なとされる高等学校卒業レベルの基礎学力を評価するとともに、人物に優れ、リーダーシップを有することを評価し、また、論理的思考力、判断力、表現力、学修意欲、明確な志望動機、及び都市デザイン学への関心度を評価する。</p> <p>総合型選抜 大学での学修に必要なとされる高等学校卒業レベルの基礎学力を評価するとともに、主体性、積極性、協働性に関わる秀でた個性を評価し、また、論理的思考力、理解力、観察力、表現力、学修意欲、明確な志望動機、及び都市デザイン学への関心度を評価し、入学者を選抜する。</p> <p>特別選抜(帰国生徒選抜、社会人選抜) 本学で「小論文」を課し、論理的な思考力及び文章表現力を評価する。また、「面接」を課し、口頭による表現力を評価する。</p> <p>私費外国人留学生選抜 日本留学試験では、基礎学力を評価する。 本学では「面接」を課し、学修意欲及び基礎学力と日本語能力を評価する。</p> <p>【入学前に学習すべきこと】 都市デザイン学を学ぶ上で必要とされる数学、理科、外国語(英語)、国語、地理歴史・公民等について、高等学校卒業レベルの学力を身に付けておくこと。 普通科以外の高等学校の卒業者は、履修可能な数学、理科、英語に関する多くの科目を履修するとともに、特に数学については自学自習により、不足分を身に付けておくこと。また、地球(環境)、都市・交通、材料等の問題についても広く関心を持っておくこと。</p>	
【学修成果の到達目標】		【学修内容、学修方法及び学修成果の評価方法】	
		都市・交通デザイン学科	材料デザイン工学科
幅広い知識	<p>【学修成果】 自然科学、人文科学、社会科学、芸術文化学、外国語等に関する幅広い教養を持ち、物事を多面的に理解できる能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 自然科学、人文科学、社会科学、芸術文化学、外国語等に関する幅広い教養教育科目を修得している。</p>	<p>【学修内容】 専門的学識のみならず、自然科学、人文科学・社会科学、芸術文化学、外国語等に関する幅広い分野について学修する。</p> <p>【学修方法】 教養教育科目、専門基礎科目を中心に講義・演習・実験・実習等により実施する。</p> <p>【学修成果の評価方法】 試験やレポートにより評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 高等学校等で修得する教科・科目を通じて、大学で教養を身に付けるために必要な基礎学力を有していること。 技術者や研究者として社会に貢献するために、自然科学、人文科学、社会科学、芸術文化学、外国語に関する幅広い教養を身につける意欲を有していること。</p>
	<p>【学修成果】 都市や地域の創生と持続的発展に係わる専門知識を修得し、地域社会や国際社会における安全・安心で、真に豊かで美しい都市の創出に貢献できる能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 基礎から応用までの専門教育科目を体系的に履修し、深い専門的学識を身に付けている。</p>	<p>【学修内容】 シビルエンジニアリングの基礎・応用・発展科目のみならず、社会科学やデザイン学、情報学についても、本学科の重要な専門的知識であり、それらの幅広い専門的知識や技術・技能の学修を実施する。</p> <p>【学修方法】 学修内容を前提とする現実の諸問題を具体的に例示するなど、現実の問題を十分認識・理解させた上で、その解決に必要な専門的知識の学修を実施する。</p> <p>【学修成果の評価方法】 専門教育科目の特性に応じて、試験やレポートなどにより評価する。</p>	<p>【学修内容】 数学、物理学、化学などの専門基礎科目を理解した上で専門教育科目を学修させる。</p> <p>【学修方法】 基礎的な学問を理解し、応用力や独創性を発揮することができるように、工学の基礎として専門基礎科目を学修させる。 専門分野の科目を体系的に学修させ、講義、演習、実験・実習等を通じて論理的思考力、応用力を育てる。</p>

ディプロマ・ポリシー		カリキュラム・ポリシー		アドミッション・ポリシー
【学修成果の到達目標】		【学修内容, 学修方法及び学修成果の評価方法】		【求める資質・能力】
		都市・交通デザイン学科	材料デザイン工学科	
問題発見・ 解決力	【学修成果】 都市や地域の創生と持続的発展に係わる課題を発見し、解決策を立案し、実践できる能力を身に付けている。	【学修内容】 自ら課題を発見し、適切に調査・分析した上で、柔軟な発想で解決策を提案する学修を実施する。		【求める資質・能力】 自ら情報収集や分析を行うことにより、社会的な問題を発見することができ、創造力や工学的専門知識を駆使して、その問題を解決する意欲がある。
	【到達指標】 課題の発見や解決策の立案、その実践に係わる科目を履修し、そのプロセスを理解している。	【学修方法】 主体的な学びの力を高めるため、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施する。		
		【学修成果の評価方法】 科目の特性に応じて、試験、レポート等を課し、ルーブリックにより、達成度を客観的に評価する。		
社会貢献力	【学修成果】 高い技術者倫理を備え、自然と共生した地域社会や国際社会の持続的発展に係わるチームの一員として、高い協調性を発揮し、適切に行動できる能力を身に付けている。	【学修内容】 高い技術者倫理と協調性の基に自らの果たすべき役割を認識し、プロジェクトチームの一員として活躍するための素養を身に付ける学修を実施する。授業レポートや卒業論文を通じて、学問的態度やそのリテラシーに関する学修を実施する。		【求める資質・能力】 人間生活と自然環境や社会環境との関わりに、深い興味と問題意識を持っていること。 他者との協調性を備え、グループで目標を達成することに關心を持っていること。
	【到達指標】 技術者倫理、チームワーク、自己管理の重要性を理解している。	【学修方法】 技術者倫理に関する科目を実施する。また、授業レポートや卒業論文の作成過程を通じた学修を実施する。 実験、実習、演習等でのチーム活動やインターンシップによる学修を実施する。		
		【学修成果の評価方法】 科目の特性に応じて、到達確認試験、レポート等を課し、ルーブリックにより達成度を客観的に評価する。		
コミュニ ケーション能力	【学修成果】 技術者や研究者として必要な情報を収集・分析して、自分の意見を他者に適切に伝えることができるとともに、他者の意見を聞き、これを自らの意見に反映できる能力を備えている。また、多様な文化・社会的背景を有する人々ともコミュニケーションを取りながら協働できる能力を身に付けている。	【学修内容】 他者の立場を尊重するとともに、自らの考えを分かりやすく伝える学修を実施する。また、英語による異文化の理解や自己表現力を養う学修を実施する。		【求める資質・能力】 異文化を理解し、多文化共生社会の中で、他者と豊かな関係を築きながら自己の成長を目指すことのできる資質を有していること。 技術者・研究者として、必要な情報を収集し、他者に分かりやすく伝える意欲があること。
	【到達指標】 英語コミュニケーションや情報リテラシー等を修得している。 実習・演習のレポート作成、卒業研究論文の作成、卒業研究発表において、基準を満たす評価を得ている。	【学修方法】 討議やプレゼンテーションにおいて、コミュニケーションの作法に関する学修を実施する。 実験や実習等のチーム活動においても能力を養う。 英語によるコミュニケーションの学修を実施する。	【学修方法】 卒業研究、輪読、研究会等において、必要な情報の収集とプレゼンテーション等によりコミュニケーション能力を修得する。 英語コミュニケーション能力を向上させるためにe-learning等による学修機会を提供する。	
		【学修成果の評価方法】 科目の特性に応じて、到達確認試験(外部の検定試験を含む)、レポート等を課し、ルーブリックにより達成度を客観的に評価するとともに、卒業研究発表においても評価する。		